

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2010-163500(P2010-163500A)

【公開日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2010-030

【出願番号】特願2009-5261(P2009-5261)

【国際特許分類】

C 09 B 67/46 (2006.01)

C 09 B 67/20 (2006.01)

C 09 D 17/00 (2006.01)

C 09 D 11/00 (2006.01)

G 02 B 5/20 (2006.01)

【F I】

C 09 B 67/46 B

C 09 B 67/20 L

C 09 D 17/00

C 09 D 11/00

G 02 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月16日(2011.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

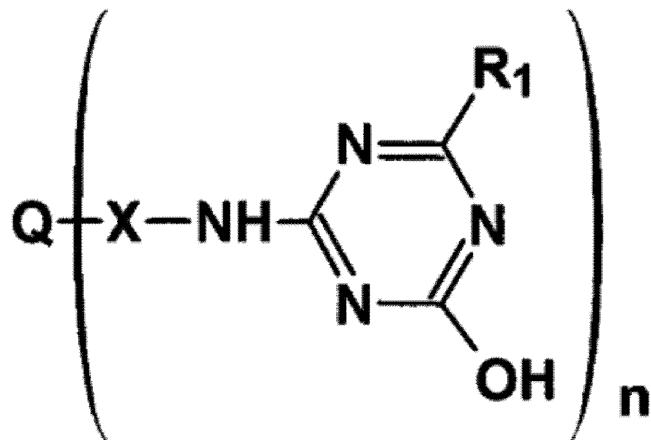
【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも顔料、分散剤、溶剤および有機色素誘導体または複素芳香族環誘導体(D)からなる顔料組成物であって、有機色素誘導体または複素芳香族環誘導体(D)が下記一般式(1)で示される有機色素誘導体または複素芳香族環誘導体(D1)と下記一般式(2)で示される有機色素誘導体または複素芳香族環誘導体(D2)とを含み、D1:D2の重量比が5:95~40:60であることを特徴とするカラーフィルタ用顔料分散体。

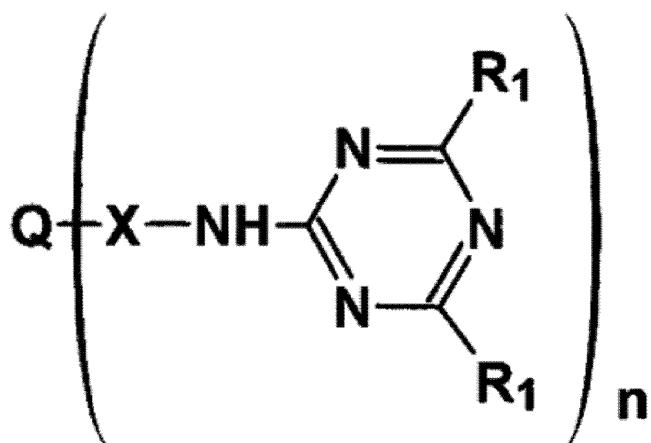
一般式(1)：

【化1】



一般式(2) :

【化2】



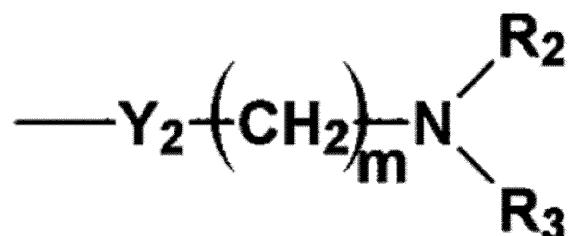
式中の記号は以下の意味を示す。

Q ; 有機色素残基、またはアントラキノン残基、または置換基を有してもよい複素環、または置換基を有してもよい芳香族化合物残基

X ; 直接結合、 $-\text{CONH}-Y_1-$ 、 $\text{SO}_2\text{NH}-Y_1-$ 、または $-\text{CH}_2\text{NHCOCH}_2\text{N}$
 $H-Y_1-$

(Y_1 ; 置換基を有してもよいアルキレン基またはアリーレン基)

R_1 ;



(Y_2 ; $-\text{NH}-$ 、または $-\text{O}-$)

(R_2 、 R_3 ; それぞれ独立に置換もしくは無置換のアルキル基または R_2 と R_3 で少なくとも窒素原子を含むヘテロ環を形成してもよい。)

m : 1 ~ 6 の整数

n : 1 ~ 4 の整数

【請求項2】

顔料と有機色素誘導体または複素芳香族環誘導体(D)の比率が100:0.1から100:100であることを特徴とする請求項1記載のカラーフィルタ用顔料分散体。

【請求項3】

分散剤が芳香族カルボキシル基を有する分散剤(A)で、芳香族トリカルボン酸無水物(B1)及び/または芳香族テトラカルボン酸無水物(B2)と水酸基を有する重合体(C)を反応させてなる化合物である請求項1または2記載のカラーフィルタ用顔料分散体。

【請求項4】

請求項1から3いずれか記載のカラーフィルタ用顔料分散体からなるカラーフィルタ用顔料インキ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0142

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0142】

[実施例2]

実施例1においてPigment Green 36をPigment Red 254(イルガフォアレッドB-CF:チバ・スペシャルティ・ケミカルズ製)に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例3]

実施例1においてPigment Green 36をPigment Yellow 150(E4GN:ランクセス製)に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例4]

実施例1において有機色素誘導体(D3)を0.1部、有機色素誘導体(D4)を0.9部に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例6]

実施例2において有機色素誘導体(D3)を0.1部、有機色素誘導体(D4)を0.9部に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例8]

実施例1において分散剤A1をK1に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0143

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0143】

[実施例9]

実施例4において分散剤A1をK1に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例11]

実施例1において分散剤A1をA2に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例12]

実施例4において分散剤A1をA2に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例14]

実施例1において分散剤A1をA3に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

[実施例15]

実施例4において分散剤A1をA3に変えた以外は同様にして顔料分散体を得た。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0145

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0145】

【表1】

	D3/D4 比率	初期粘度	経時粘度(25°C)		顔料
			10日	60日	
実施例1	20/80	8	8.5	8.5	Pigment Green 36
実施例2	20/80	6	6	6.5	Pigment Red 254
実施例3	20/80	11	10.5	11	Pigment Yellow 150
実施例4	10/90	9	9.5	10	Pigment Green 36
実施例6	10/90	7	8	8	Pigment Red 254
実施例8	20/80	10.5	10.5	10.5	Pigment Green 36
実施例9	10/90	11	12	11.5	Pigment Green 36
実施例11	20/80	10	10.5	10.5	Pigment Green 36
実施例12	10/90	11	12	12	Pigment Green 36
実施例14	20/80	10	10	10.5	Pigment Green 36
実施例15	10/90	11	12	12	Pigment Green 36
比較例1	0/100	10	15	40	Pigment Green 36
比較例2	100/0	ゲル化	ゲル化	ゲル化	Pigment Green 36
比較例3	80/20	30	ゲル化	ゲル化	Pigment Green 36
比較例4	0/100	8	14	50	Pigment Red 254
比較例5	100/0	ゲル化	ゲル化	ゲル化	Pigment Red 254